

## 第21回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会報告

緩和ケアセンター事務局

令和元年9月19日(木)に、第21回 宇部・小野田圏域緩和ケア事例検討会が山口大学医学部附属病院新中央診療棟1階多目的室1で開催されました。切れ目のない緩和ケアを実現するために、事例検討を通じて顔の見える緩和ケア連携体制の構築及び連携強化を図ることを目的とし、院内外の医師、看護師、MSW、訪問看護師、薬剤師、心理士など参加され合計38名の参加者となりました。

当院の緩和ケアセンター三好看護師長より開会の挨拶があり、各施設より事例提示があった後、グループ形式で討議を行いました。

### 事例：「意思決定が困難な高齢患者の咽頭がん・食道がん治療を支援した事例」

山口大学医学部附属病院 耳鼻咽喉科医師 堀 健志先生

山口大学医学部附属病院 看護部 院内がん看護認定看護師 村上 梢先生

グループ討議では、様々な視点から活発に意見が出され、参加者の方々からは、「当科のみでは気づけないことを他の病院の方に意見を頂くことで考えが深まり、学びとなりました」「関わったことのある患者さんを深く学ぶことができた。受け持ち看護師さんの思いなど、シレンマも含めて学ぶことができて勉強になりました」「このような研修会がありましたら、また参加したいと思います。ありがとうございました」などの意見が寄せられ有意義な検討会となりました。

この度は、様々な職種の方々に検討会に御参加して頂き、誠にありがとうございます。本検討会は、今後も継続して行う予定ですので皆様のご参加を心よりお待ちしております。

今後ともご理解、ご協力よろしくお願い申し上げます。

### 《検討会風景》



